

令和４年度 いでは文化記念館運営協議会

令和５年３月８日（水）１０時００分～

於：いでは文化記念館

〈 次 第 〉

協 議

- （１）令和４年度事業実施状況について
- （２）令和５年度事業計画（案）について
- （３）その他

いでは文化記念館運営協議会委員名簿 (任期：R3. 4. 1～R5. 3. 31)

NO.	区分等	氏 名	所 属 等	推薦根拠
1	会長	島津 慈道	羽黒山正善院 住職	学識経験 出羽三山文化 鶴岡市文化財保護審議委員
2	副会長	粕谷 典史	宿坊組合組合長	地域連携
3		宮野 直生	出羽三山神社 宮司 出羽三山歴史博物館 館長	出羽三山文化
4		工藤 純平	NPO 蜂子山社中	地域連携
5				

(敬称略)

事務局体制 (令和4年度)

	氏 名	所 属 等	備 考
1	上林 喜博	羽黒庁舎産業建設課課長	
2	金内 房夫	羽黒庁舎産業建設課課長補佐	
3	宮本 新也	羽黒庁舎産業建設課専門員	
4	武田 昂太	羽黒庁舎産業建設課主事	

指定管理者 (羽黒町観光協会 平成28年4月1日から)

	氏 名	所 属 等	備 考
1	丸山典由喜	羽黒町観光協会 会長	
2	國井 儀昭	羽黒町観光協会 事務局長	
3	吉住 弘幸	羽黒町観光協会 係長	
4	山崎 安奈	羽黒町観光協会 いでは文化記念館 学芸員	
5	菅原 真一	羽黒町観光協会 主任	
6	齋藤 聖子	羽黒町観光協会 嘱託職員	
7	早坂 美津穂	羽黒町観光協会 事務員	

令和4年度 いでは文化記念館事業 実施状況について

令和4年度は、新型コロナウイルス感染対策による規制の緩和が全国的に行われ、特に春は昨年度よりも大幅な集客となった。大々的なイベントはできなかったが、一年を通して小規模イベントを複数に分けて開催することで、さまざまな事業を行うことができた。今年度は酒井家庄内入部400年を記念した展示「羽黒山と庄内藩一天宥別当事蹟・芭蕉門弟と庄内俳壇」を開催したほか、出羽三山をテーマにした絵画作品を描いている若い女性アーティスト 4 人の作品展示「描かれた出羽三山ー女性アーティスト達による作品展ー」を開催し、前年に引き続きこれまで当館に来たことがない層にも当館を認知していただくきっかけ作りを行うとともに、HP や SNS の投稿頻度の向上や館内に羽黒地域の案内用タブレットを設置するなど、実際に足を運びたいと思っていたような情報発信を行った。

1. 企画展示

(1)「第22回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」

展示期間：令和4年4月15日(金)～6月20日(月)

展示内容：羽黒町観光協会で開催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品
合計 35 点を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信した。

有料入館者数：934名

(2)「羽黒山と庄内藩一天宥別当事蹟・芭蕉門弟と庄内俳壇」

展示期間：令和4年6月25日(土)～11月21日(月)

展示内容：酒井家庄内入部400年記念の連携事業で、羽黒山と庄内藩の歴史的関係、関連資料を展示した。期間中はクイズラリーや企画展ギャラリートークのほか、近世の羽黒山と庄内藩の関係についての記念講座も行った。また、連携事業で庄内の博物館等施設で行うミュージアムスタンプラリーにも参加。

有料入館者数：2,353名

(3)「描かれた出羽三山ー女性アーティスト達による作品展ー」

展示期間：令和4年11月26日(土)～令和4年4月10日(月)

展示内容：出羽三山をテーマにした作品を描く東北芸術工科大学出身の女性アーティスト4人（青木みのりさん、山月まりさん、吉田祐子さん、渡辺綾さん）の作品の合同展示を行った。アーティスト在廊日の告知やアーティストのグッズ販売等の新たな試みを行った。4/9（日）にはアーティストへインタビューと、アーティストによる展示説明を行うギャラリートークも開催する。

有料入館者数：329名（3月3日現在）

2. 講演会および関連イベント

(1) 企画展記念講座

『近世の羽黒山と庄内藩―出羽三山をめぐる関係―』

○日時／9月19日(月・祝) 13:30～15:00

○場所／いでは文化記念館 レクチャーホール

○講師／岩鼻通明氏 (民俗学者、山形大学名誉教授)

○目的／酒井家庄内入部400年特別展「羽黒山と庄内藩―天宥別当事蹟・芭蕉門弟と庄内俳壇―」を記念して、本講座では、民俗学者として出羽三山の信仰や文化といった民俗についての研究を行い、数々の著書を執筆されている山形大学名誉教授の岩鼻通明氏を講師にお招きし、近世の羽黒山と庄内藩双方の出羽三山をめぐる関係についてのお話をいただいた。

○参加人数／31名

▼企画展記念講座 (9月19日開催)



(2) 企画展記念イベント

『いでは文化記念館ギャラリートーク』

○日時／7月3日(日)、8月27日(土)、9月25日(日)、11月6日(日)

○場所／いでは文化記念館 展示室 13:30～14:30

○目的／企画展開催を記念し、出羽三山の歴史や文化、羽黒修験について、当館の学芸員がわかりやすく解説を行った。

○参加人数／7月:5名、8月:4名、9月:1名、11月:7名

▼いでは文化記念館ギャラリートーク



(3) 企画展記念イベント

『いでは文化記念館企画展ドキドキ！クイズラリー』

○期間：企画展「羽黒山と庄内藩一天宥別当事蹟・芭蕉門弟と庄内俳壇」開催中

○場所／いでは文化記念館 展示室

○目的／企画展開催期間中、企画展テーマに関連した問題を5問出題し、正解者にはオリジナルグッズをプレゼントしている例年人気のクイズラリー。解答用紙は企画展のアンケートも兼ねており、来館者の率直な意見を聞くことができ、運営の参考としている。

参加総数／82名

(4) 企画展記念イベント

『描かれた出羽三山ギャラリートーク』 ※開催予定

○日時／令和5年4月9日(日) 13:30～16:00

○場所／いでは文化記念館 レクチャーホール・企画展示室

○担当／青木 みのり氏、山月 まり氏、吉田 祐子氏、渡辺 綾氏

○目的／いでは文化記念館企画展「描かれた出羽三山」女性アーティスト達による作品展」開催を記念して、企画展出展のアーティスト4人をお招きして行う二部制のギャラリートーク。第一部では当館の学芸員がインタビュアーとなり、企画展における作品の魅力についてアーティストの方々にお伺いする。第二部では実際の作品をアーティストの方から解説していただき、質疑応答を行う予定。

(5) 夏休み・企画展記念イベント

『いではわくわくワークショップ・夏休み親子俳句教室 in 羽黒山』 ※開催中止

○日時／7月31日(日) 13:30～16:00

○場所／いでは文化記念館 レクチャーホール

○講師／土岐 彰氏(羽黒吟社会長)

○目的／小学生とその保護者を対象に、企画展「羽黒山と庄内藩一天宥別当事蹟・芭蕉門弟と庄内俳壇」を記念して、「奥の細道」で羽黒山を訪れた松尾芭蕉の事蹟を学びながら、羽黒山をテーマにした俳句作りを行う夏休みイベント。開催予定だったが、コロナウイルス感染拡大が危ぶまれるという連日の報道などもあり時世を鑑みて、残念ながら中止する運びとなった。

3. 「羽黒山歴史探訪～門前町編～」

羽黒山信仰を連綿と支えてきた門前町・手向地区。修験者が住み信仰の歴史を伝える文化財が点在する門前町の歴史にスポットを当て、その魅力を探った。

(1) 「羽黒山と庄内藩の増川山境界をたずねる」

○講師／渡部 幸氏（出羽三山歴史博物館学芸員）

○日程／10月8日（土）8：45～14：00

○目的／出羽三山歴史博物館学芸員による案内のもと、羽黒山の五水八石の一つである「船石(ふないし)」「金剛石(こんごうせき)」といった、かつて庄内藩との境界を表していた史跡を訪ねた。このほか、羽黒山山頂の史跡や建物にまつわる話を案内していただいた。移動はマイクロバスを利用。昼食は羽黒山斎館で精進料理をいただいた。

○コース／いでは文化記念館集合(マイクロバス移動)→中の坂・船石(羽黒高校敷地内)→金剛石(鶴岡市添川地域)→荒澤寺 野口女人道周辺→月山公園線 傘骨周辺→(羽黒山有料道路・マイクロバス移動)→破尺堂→羽黒山頂境内→昼食(羽黒山斎館)→いでは文化記念館 解散

○参加人数／7名

(2) 「羽黒手向地区の史跡と寺社をたずねる」

○講師／勝木 正人氏（手向地区自治振興会会長・光林坊）

○日程／11月3日(木・祝) 9：00～13：00

○目的／手向地区自治振興会会長の勝木正人氏による案内のもと、羽黒山の寺院である金剛樹院や正善院をはじめ、赤坂薬師神社や旧蓮台寺といった古くからの歴史を残している寺社を廻り、蝦夷館公園からの古道を訪ねた。昼食は宮田坊で精進料理をいただいた。

○コース／いでは文化記念館集合(マイクロバス移動)→蝦夷館公園→赤坂薬師神社→旧蓮台寺・地藏堂→金剛樹院 庭園→的場小路→正善院黄金堂→昼食(宮田坊)→いでは文化記念館 解散

○参加人数／10名

▼羽黒山歴史探訪①（10月8日開催）



▼羽黒山歴史探訪②（11月3日開催）



4. 古文書解読・歴史講座『出羽三山を読む』

■目 的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、古文書の解読技術の向上と出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。

■講 師 後藤 赴司氏（出羽三山山岳宗教研究所 主幹）

■会 場 いでは文化記念館レクチャーホール

■日 時 6月～10月まで 毎月第2・4木曜日（10月13日は実地研修）

■回 数 全9回（※全10回開催予定だったものの講師欠席により第10回は中止）

平成18年度から実施している事業で、これまで参加者の要望等も反映しながら年々講座内容を充実させてきた。平日開催に関わらず参加者が多く、出羽三山の歴史の学習も含め古文書の解読に熱心である。

23年度からは、古文書と合わせて実地研修を実施し、年々参加者の理解と興味が深まっている。参加者からは、それぞれの地域に存在する出羽三山関係の古文書についての問い合わせもあり、新たな歴史史料の発掘も期待できる。

このような参加者の意識の広がりや、重要史料の散逸や消滅の防止となり、地域の歴史と文化の継承につながっていく。

※R4年実績 講座回数 全9回、申込者20名、述べ参加者120名

添付書類

- | | | |
|--------|----------------|-------|
| ＊令和4年度 | ・入館者実績※ | |
| | ・施設利用実績※ | |
| | ・入館料実績※ | |
| | ・企画展クイズラリー統計結果 | |
| | ・古文書講座アンケート結果 | |
| | ・歴史探訪アンケート結果 | ※2月現在 |

令和5年度 いでは文化記念館事業計画（案）について

令和5年度は月山の卯歳御縁年であるため、月山に焦点を当てた企画展を開催する予定である。そのほかの主催事業は新型コロナウイルスの感染拡大状況をみながら、今年度と同様に小規模イベントを複数に分けて開催する方法で行う予定である。

1. 企画展示

（1）展示名「第23回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」

展示期間：令和5年4月15日（土）～6月19日（月）

展示内容：羽黒町観光協会で開催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信し誘客の契機を目的とする。

（2）展示名「月山卯歳御縁年記念企画展・月山の信仰を辿る（仮）」

展示期間：令和5年6月24日（土）～11月20日（月）

展示内容：令和5年度が月山の卯歳御縁年であることを記念し、月山にまつわる信仰について歴史資料から辿る企画展。阿弥陀・祖霊信仰、鳥海山と月山の関係の資料等を展示予定。会期中はギャラリートークも開催する予定。

（3）展示名「羽黒を描く三浦恒祺・収蔵資料展（仮）」

展示期間：令和5年11月25日（土）～令和6年4月9日（月）

いでは文化記念館収蔵資料であり、羽黒地域の歴史的な家屋や風景を描いている三浦恒祺氏の作品を展示する。所蔵資料を見ていただく機会であり、来館者には今見ることが難しくなった、三浦氏が見てきた羽黒地域の記憶を共有することが目的。会期中ギャラリートークも開催予定。

2. いでは文化記念館企画展示記念講演会

関連イベント案 企画展記念イベント

『月山卯歳御縁年記念講演会』（検討中）

○講師／検討中

○日時／9月～10月（仮）13：30～15：00

○場所／いでは文化記念館レクチャーホール

○目的／企画展開催記念イベントとして、月山の信仰にまつわる宗教観や歴史について、講師をお招きしお話いただく。

3. 「羽黒山歴史探訪～月山卯歳御縁年編～」

いでは文化記念館設置趣旨である「出羽三山文化の学習活動を高め、もって地域文化振興に資する」ため実際に周辺史跡を探訪し、出羽三山の深い歴史を身近なところから知る機会を作り地元の文化財の見直し、次世代への継承、保存意識の啓発を目的とする。

(1) 「月山登拝の旧参道を辿る」(仮)

○講師／交渉中

○日程／7月29日(土)または8月5日(土)など 8:30～14:00

○目的／月山卯歳御縁年を記念して、講師の案内の元、羽黒山から月山へ至るまでの旧参道に関わる月山の歴史を学ぶ。また、月山ビジターセンターと連携し、月山の高山植物なども学べる機会とする。

○コース／いでは文化記念館出発(8:30)→月山ビジターセンター→荒沢寺→野口→【月山8合目まで月山旧参道の各山小屋跡などをバスで巡る】→8合目弥陀ヶ原散策→8合目中の宮(昼食)→8合目駐車場出発→いでは着・解散(14:00)

(2) 「月山の信仰を訪ねて」(仮)

○講師／交渉中

○日程／8月26日(土)または9月2日(土)など 8:30～14:00

○目的／月山卯歳御縁年を記念して、講師の案内の元、月山の阿弥陀如来信仰や神仏分離など、月山にまつわる信仰や歴史を紐解く機会とする。

○コース／いでは文化記念館出発→黄金堂→羽黒山・月山方面①(検討中)→羽黒山・月山方面②(検討中)→羽黒山・月山方面で昼食(検討中)→いでは着・解散

4. 出羽三山歴史講座『出羽三山を学ぶ』

■目的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。

■講師 交渉中

■会場 いでは文化記念館1階レクチャーホール

■日時 6月～10月まで 毎月木曜日
※いずれかの回1回は実地研修

■回数 全5回を予定

平成18年度より実施している古文書解読・歴史講座は、参加者の要望等も反映し講座内容を年々充実させてきた。平日の開催にもかかわらず、多くの皆さんが興味を持ち出羽三山の歴史の学習も見学することで年々参加者の理解と興味も深まっている。参加者の意識を広げていくことで重要史料の散逸・消滅の防止にもつながる。出羽三山の歴史・文化を継承するべく人材育成のために古文書解読・歴史講座は出羽三山歴史講座へ移行し継続して事業を実施していく。

—古文書解読・歴史講座参加人数—

実施年度	申込者数	延べ人数
平成18年度（講座回数：全14回）	17名	152名
平成19年度（講座回数：全13回）	35名	254名
平成20年度（講座回数：全12回）	50名	300名
平成21年度（講座回数：全13回）	67名	373名
平成22年度（講座回数：全11回）	53名	293名
平成23年度（講座回数：全12回）	54名	325名
平成24年度（講座回数：全12回）	55名	324名
平成25年度（講座回数：全12回）	46名	227名
平成26年度（講座回数：全12回）	52名	238名
平成27年度（講座回数：全10回）	44名	271名
平成28年度（講座回数：全10回）	38名	196名
平成29年度（講座回数：全10回）	30名	196名
平成30年度（講座回数：全10回）	24名	170名
令和元年度（講座回数：全10回）	28名	194名
令和2年度 ※コロナにより開催中止	—	—
令和3年度（講座回数：全10回）	23名	181名
令和4年度（講座回数：全9回） ※講師欠席の為第10回は開催中止	20名	120名